

川が泣いている

山添村立山添中学校 二年

前川 みずき

私の家の前には、一本の細い川があります。そこにはたくさんの魚が、蛍がいました。ですが、今年の夏、蛍の数が少なくなってきました。ことに気づきました。魚だつてそうです。

私の地域は、魚釣りを川でするとき、日券か年券を買わなくてはなりません。そして許可を得て魚釣りをすることができません。小学生のころ、兄や友達と一緒に木や竹の枝である物を作りました。何だと思えますか。そうです、釣り竿です。枝に糸をくくり、はりがねをつけて、釣り竿のでき上がりです。ですが、魚を釣るのがすごく難しく、エサだけとられたり、周りの草にひっかかったりと大変でした。今思えば、許可なしで釣りをしていた私たちに魚が怒っていたのかもしれない。

夏は私にとって、蛍をつかまえて間近で見たり、魚釣りをしたりなどと、とても充実した季節でした。ですが、今は魚が減り、蛍が減りと、とてもさみしい川になってしまいました。それは、水が汚れていることを意味するのです。川にはゴミが捨てられ、人間が汚した水を川に流すなど、人間は川が泣くようなことをしています。環境破壊をしているのは人間なのです。そして、何も考えていないと思います。あなたが捨てるそのゴミで、生き物を簡単に殺してしまふのです。そして、魚が減り、蛍が減っていくのです。

そして、前の川で一つ変わったことがあります。大きな羽をのばし、悠々と飛んでいた真っ白なシラサギが真っ黒なカラスに変わっているのです。カラスは川に捨ててあるゴミ

をつつきにきます。そんなカラスがたくさん来るといふことは川が汚くなり、川が泣いている証拠です。ですが、私は知りませんでした。「シラサギ」は汚れた川にくることを。

真っ白な羽を大きくのびし、あんなに美しく飛ぶシラサギであつても、汚れた川を好むと知ったとき、とても驚きました。気づいていませんでしたが、水汚染は、今年からではなく、もつと前からだったので。一つのゴミで、一つの有害物質で、魚や蛍、そして川だつて死なせてしまうのです。

私は思いました。もし、あなたの目の前にきれいな川と汚い川の二本の川があつたとしたら、あなたは、どちらの川にゴミを捨てますか。何もゴミがなく、すき通つて見える水が流れている川にゴミを捨てられますか。私だつたら間違はなく、汚い川にゴミを捨てるでしょう。私の地域は、今、そんな状況です。一人が捨て、また一人が捨て：そうやって人間の力でゴミはどんどん増えていくのです。反対に、人間の力でゴミをなくすことだってできます。水汚染は、全て人間ができることなのです。考えてください。あなたは、魚が

ゴミ拾いをしたところを見たことがありますか。そのように、人間は簡単に、生き物が生きる場所をこわし、簡単に生き物を死なせてしまうのです。難しいことはありません。ゴミ拾いをするのは簡単なことなのです。反対に、ゴミを捨てるほうが難しいように思います。

これから私は、魚が、蛍が戻つてきてくれるように、積極的にゴミ拾いをしようと思いません。水は、「人間の命」とも読めるでしょう。人間は、水がなければ生きていきません。そんな水を大切にしていかなければなりません。蛍よ、魚よ、私たちの地域に、川に戻ってきてね。